

# ふくしの木

2019.9  
No. 36

## 第3次地域福祉活動計画実行委員会の活動



活動状況の把握 (拜東南小ネット)

協町



ウォーキング大会

美馬



穴吹川美化環境ポケットテッシュ配布

穴吹



植林下草刈り

木屋平

## Contents

- 会長あいさつ ..... ①
- 理事・監事の改選、新評議員のご報告
- 平成30年度事業ならびに事業活動収支決算報告 ..... ②
- 社協会員会費 ..... ③
- 生活困窮者自立支援事業「暮らしサポートみま」
- 美馬市善意銀行



ふくしの木

第三十六号 発行日/令和元年九月 発行/社会福祉法人美馬市社会福祉協議会 〒779-3610 徳島県美馬市協町大字協町三〇三番地三  
電話(0883)531743 FAX(0883)531647 e-mail minashi@tokushima-shakyo.jp

## 「社協会員の募集」と「会費」のご協力をお願い

### 社協会員会費は 地域福祉推進の基盤となります。

美馬市社会福祉協議会の運営は、市民の皆さまからの社協会員会費をはじめ、美馬市や県社協からの補助金や委託金、寄附金等でまかなわれております。

社協会員会費は、“住民主体”の地域福祉活動の実施のため、住民のみなさんを対象とした会員制度をとっています。今後、さらに充実した事業をすすめていくためにも、皆さまからの会費が社協の貴重な財源として大きな役割を果たします。住民参加による地域福祉推進のため、更なるご理解とご協力をお願いいたします。

- ◇会員の区分  
普通会員(会費一口 500円)  
特別会員(会費一口 1,000円)

全世帯のみなさまに普通会員として加入をお願いしています。その中で、特に社協の福祉事業推進にご賛同ご協力いただける方は、特別会員として、ご協力をお願いします。

- ◇会員会費募集推進期間  
10月1日～10月31日

会員会費の募集は、毎年10月に福祉委員(自治会長)を通じて、会員世帯をお願いしています。会員会費の募集は、年間を通して行っていますが、毎年10月を会員会費募集推進期間としています。

## 美馬市生活支援相談センター「暮らしサポートみま」

悩みや不安、お困りごとがあれば一人で悩まずお気軽にご相談ください。どなたでも無料・秘密厳守です。

### ●自立相談支援事業

「暮らし」「仕事」「家計」のことなど、ひとりひとりの悩みに応じて解決策を共に考え、寄り添いながら生活の立て直しに向けて継続的な支援を行います。

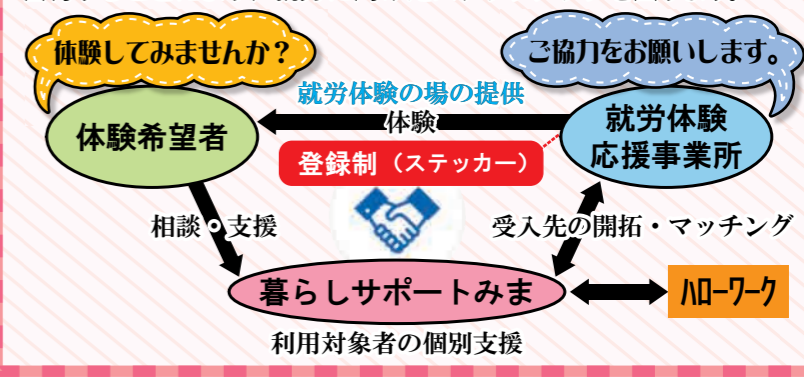
### ●家計改善支援事業

日常的な金銭管理から多重債務の悩みまで、家計に関する相談を受けし、生活を整えるために一緒に考えていきます。

詳しいことは、暮らしサポートみま ☎53-7830まで

### ●就労準備支援事業

一般就労の準備としての就労体験をとおして、基礎能力や知識を習得することにより、就労に向けたステップアップを図ります。



## 美馬市 善意銀行

## 認知症高齢者等GPS機器 導入費用助成事業のお知らせ

善意銀行では、徘徊高齢者等の事故を未然に防ぐとともに、徘徊高齢者等を介護する家族等が安心して生活できる環境を整備することを目的とした事業を行っています。

- 助成申請できる方 美馬市内に在住する徘徊高齢者等を在宅で介護されている方
- 助成対象経費 本会が指定する機器を利用する際の初期導入費用。7,000円を上限(助成は1回のみ)  
※通話料や月額利用料等については、利用者負担となります。
- 申請に必要なもの ①美馬市社会福祉協議会認知症高齢者等GPS機器導入助成金申請書 ②印鑑

詳しいことは、社会福祉法人美馬市社会福祉協議会 総務課 ☎53-7432まで

# 社協の事業ならびに事業活動収支決算報告

平成30年度社会福祉法人美馬市社会福祉協議会事業報告ならびに決算報告が5月の理事会、6月の評議員会で承認されました。

## 平成30年度事業報告（要旨）

### 1 組織の基盤強化と社協事業の総合的推進

- 社会福祉法改正に基づき理事会・評議員会を開催すると共に「財務管理検討委員会」「福祉委員あり方検討会」「善意銀行運営委員会」を行い各種事業を進めることで社会福祉法人としての地域貢献を行った。
- 市社会福祉大会を開催し、社会福祉事業に功績のあった方等に対する表彰、感謝状の贈呈並びにダイヤモンド婚・金婚の祝いの贈呈を行い、参加者の福祉意識の高揚につなげた。
- 社会貢献事業は、「美馬市くらしサポートネットワーク会議」として改名し、定例会を開催するとともに、運営委員会を立ち上げ、認知症カフェは、「オレンジ・カフェ」として4回実施し、福祉避難所運営訓練も行った。
- 社協会員会費の募集を行い、地域福祉活動計画やボランティアセンター等、各種事業や助成に活用し、地域福祉の推進を行った。

### 2 地域福祉力の向上と福祉人材の育成

- 第3次地域福祉活動計画では、地域の福祉ニーズや生活課題の解決に向け、「我が事・丸ごと地域共生社会」の実現に向け、地域福祉活動計画実行委員が主体となり、多くの市民とともに地域づくり活動を行った。
- ボランティア市民活動センター事業では、福祉教育やボランティア学習の推進のため、誰でも、いつでも気軽に「ちょボラ」のチラシ啓発や、BCP(事業継続計画)作成のための職員研修会を行った。また、災害ボランティアセンター整備事業として、豪雨災害支援のために、職員1名を派遣した。
- 在宅福祉事業は、高齢者・障がい者が住み慣れた地域で継続して生活できるように支援を行った。
- 地域介護予防活動支援事業では、地域において介護予防に関する知識の普及・啓発や地域における自主的な介護予防として「いきいき百歳体操」の推進に取り組み支援を行った。
- 生活支援体制整備事業では、住民参加のもと、小地域を単位としたふれあい・いきいきサロンを活動拠点とした地域づくりを目的とし、介護予防事業を展開することで、地域の福祉力の向上を図った。
- 認知症高齢者見守り事業では、認知症に関する広報・啓発活動や、小地域生活支援ネットワーク事業の推進などを通し、地域住民とともに課題解決に向けた見守り体制の構築の取り組みを行った。

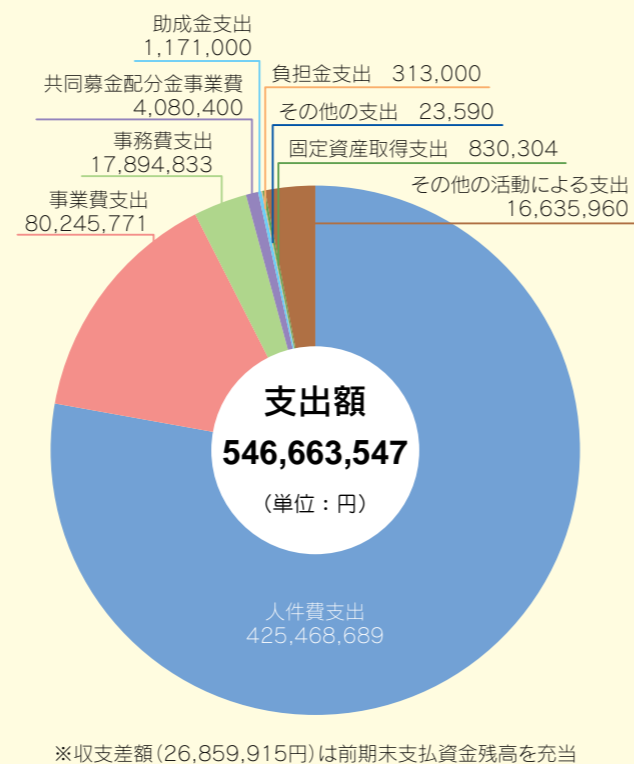
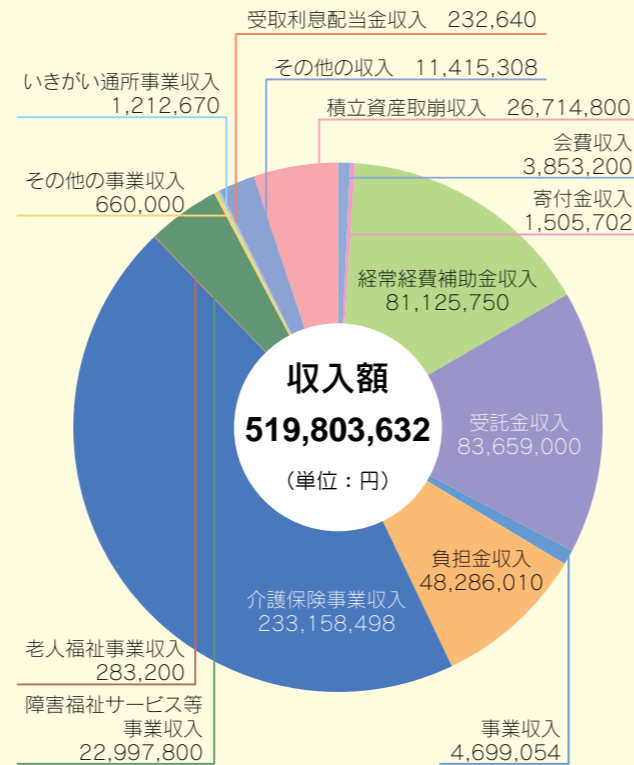
### 3 総合的な相談支援体制の確立と個別支援及び権利擁護の確立

- 法人後見センター事業、日常生活自立支援事業では、関係機関や多職種との連携のもと、判断能力が不十分な高齢者や障がい者等の個別支援を行い権利擁護を行った。
- 生活困窮者自立支援事業では、心身や家族の問題等複合的な課題を抱えた相談が多く、各関係機関からの情報収集が必要で個々の状況に合わせた包括的・継続的な伴走型の支援を行った。

### 4 地域住民から必要とされる福祉サービスの提供

- 福祉サービスレベルの向上に向けた取り組みとして、一部デイサービスセンターにおいて、タクティールケア(優しく触れることにより、不安や痛みを和らげるケア)を行った。
- 職員の資質向上に向けた取り組みとして、職員による年間個人目標の設定や計画的な職員研修を行った。
- 事業所周知に向けた取り組みとして、各事業所それぞれにおいて、戸別のPRチラシの配布や「デイサービスだより」の配布及び地域の民生委員、児童委員さんへの訪問等関係づくりを行った。

## 【平成30年度 決算の概要】



※収支差額(26,859,915円)は前期末支払資金残高を充当

## 会長あいさつ



会長 大垣賢次郎

このたび、役員任期満了に伴う改選により、令和元年6月13日開催の理事会におきまして会長に再任いただきました大垣賢次郎でございます。その職責の重大さを痛感し、身の引き締まる思いであります。

近年、ひとり暮らしの高齢者の増加、社会的孤立や生活困窮の問題等、公的なサービスだけでは解決しにくい諸問題が増えてまいりました。さまざまな諸問題に対し、住民の皆様の声をお聴かせいただき、解決に向けた取り組みを、皆様と一緒に探って参りたいと考えております。

「我が事・丸ごと地域共生社会」の実現に向け、美馬市社会福祉協議会においても、地域福祉を推進する中核的な社会福祉法人として、市民の皆様方のお力添えを頂きながら、その使命を十分に発揮できますよう役員・職員一丸となり、精一杯の努力を重ねて参る所存でございます。

市民の皆様方のご理解とご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

あいさつとさせていただきます。



## 美馬市社会福祉協議会

# 理事・監事の改選、新評議員のご報告

任期満了に伴う改選により、理事会・評議員会で選任されました。

令和元年6月13日に開催された理事会において、会長に大垣賢次郎理事、副会長に加美一成理事、常務理事に田邊正枝理事が選任されました。

新理事 12名	
【任期】令和元年6月13日から令和2年会計年度にかかる定時評議員会の終結の時まで (敬称略)	
氏名	選出区分
加美一成	行政機関
村岡直美	教育関係団体
黒岩誠治	民生委員・児童委員関係
三宅武夫	福祉関係団体
上田薫	福祉施設役職員
川端鴻志	ボランティア関係
阿部義則	ボランティア関係
川西仁	学識経験者関係
三宅正明	学識経験者関係
森廣一	学識経験者関係
大垣賢次郎	学識経験者関係
田邊正枝	学識経験者関係

新監事 2名	
【任期】令和元年6月13日から令和2年会計年度にかかる定時評議員会の終結の時まで (敬称略)	
氏名	選出区分
澤田篤也	学識経験者関係
藤野和良	学識経験者関係

新評議員 3名	
【任期】令和元年6月5日から令和2年会計年度にかかる定時評議員会の終結の時まで (敬称略)	
氏名	選出区分
住友礼子	社会福祉行政機関
刈谷広恵	保健・医療関係
中川洋二	福祉施設関係